

核物質防護に関する不適合情報

2025年4月21日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 0件

3. 公表区分Ⅲ 2件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	作業員が物品を防護区域内へ搬入するにあたり、刃物類持込の申請が必要な作業用工具を車内に積んでいたが、周辺防護区域境界(車両ゲート)を通過する際、当該作業員は申請書類の提示を失念し、かつ警備員は点検が不十分であり発見することが出来なかった。その後、防護区域境界を通過する際の点検にて警備員が発見した。 申請書の提示漏れを防ぐ対策として、警備員は点検をする際「未提示の申請書がないか」といった声掛けを持込者へ行う運用へ変更。また、警備員に対して、細かな対象物を点検する場合は、手元に引き寄せて点検するよう指導した。	2025/2/26	
2	防護区域境界の点検で、警備員がカメラ機能付きの情報端末機器を発見した。 調査の結果、周辺防護区域境界で点検した警備員は当該機器を確認していたが、機器背面のカメラレンズの存在に気づかず、また持ち込んだ作業員もカメラ機能付きであると認識していなかった。防護区域境界の点検では、警備員がカメラレンズに気づき持ち込みを制止した。 対策として、関係者に対して点検対象物を多面的に確認することを徹底するよう再教育するとともに、周知と注意喚起を行った。	2025/3/3	

4. 公表区分その他 6件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	核物質防護上の扉における認証装置が、一部正常に動作しないことを確認した。 障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/5/8	
2	IDカードの発行に使用するパソコンが、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/9/7	
3	監視カメラの洗浄機能が、正常に動作しないことを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2025/2/15	
4	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の侵入検知機能は、代替措置にて維持した。	2025/3/1	
5	協力企業より、車両通行証を紛失したとの連絡があったことから、当該通行証の無効化措置をした。 また、当該通行証を申請した企業に指導を行うとともに、関係者に保管管理徹底の注意喚起を行った。なお、当該通行証の不正使用は確認されていない。	2025/2/21	
6	侵入検知器の機能の一部が、正常に動作しなくなり、その後自然復旧したことを確認した。 侵入検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2025/3/29	